

チュートリアル課題 左手がうごかない

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2010-03-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/11819

2006年度

Block 4 テュートリアル課題

課題番号 1

左手がうごかない



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください

神経内科学 飯嶋 睦

2006-B4-1

左手がうごかない

シート1

私は医学部の3年生です。ある朝、私の母が、起床時から左手に力が入らないと電話をしてきました。

【抽出を期待する事項】

運動機能の神経機構

運動障害の発生機序と鑑別診断

シート2

母は62歳です。40歳代より健康診断で血糖が高く、太り気味であると指摘されたため、食事に注意していました。その後、糖尿病と診断され、50歳代からインスリンを使用しています。同じ頃から、血圧が高いことを指摘されたため食事療法をしていましたが、コントロールが不十分なため55歳より降圧剤を内服するようになりました。

【抽出を期待する事項】

心血管病の危険因子

糖尿病

高血圧

肥満

食事療法

2006-B4-1

左手がうごかない

シート3

翌日になっても、左手の力が改善しないため、神経内科の外来に連れていきました。血圧は160/86 mmHg で、心電図、胸部レントゲンは正常でした。頭部CTを施行したところ資料1のような所見を認めたため、入院し詳しい検査と治療が必要なことを告げられました。

【抽出を期待する事項】

脳梗塞

左上肢の運動障害

左上肢の感覚障害

左上下肢の協調運動障害

両側振動覚低下

多数の危険因子（メタボリックシンドローム）

高血圧、高脂血症、糖尿病、肥満

2006-B4-1

左手がうごかない

シート4

頭部 MRI と頭部 MRA で資料3のような所見を認めたため点滴による治療が開始されました。頸動脈エコーでは資料4のような所見でした。同時に食事療法とリハビリテーションも開始されました。

【抽出を期待する事項】

脳梗塞急性期の頭部 MRI 所見

頭部 MRA 所見

頸動脈エコー所見

脳梗塞急性期の抗血栓療法

早期リハビリテーション

脳梗塞の食事療法

2006-B4-1

左手がうごかない

シート5

入院後、症状は徐々に軽快しました。点滴治療は1週間で終了し、内服薬が開始されました。血圧は塩分制限により低下し、糖尿病は食事療法とインスリン量の調節を行い、血糖値は改善しました。高脂血症に対しても内服薬が開始されました。今後、食事療法と服薬を厳守し、適度な運動をするように指導され、退院しました。娘としては再発が心配です。

【抽出を期待する事項】

抗血小板療法

食事療法

運動療法

脳梗塞の再発予防